

法蔵 341号 師走号

・順信寺の予定

* 12月12日(土) 午後0時より 「定例法話会」 お話ししていただく布教使さんは、網走市卯原内
教宣寺 津田良聖師です。今年最後の法話会です。皆様の御参加お持ちいたしております。

* 12月28日(月) 午後1時より 「親鸞聖人ご命日のお参り」

* 1月元旦 午前0時15分より 「修正会」

例年通り雪明りの下、お参りをしたいと思っております。

* 1月12日(火) 午後1時より 「修正会・定例法話会」

みんなで新年のお参りをして、布教使さんのお話を聞きます。例年その後に新年会をしているのですが、今年は新型コロナウイルスの問題がありますので残念ですが、今のところ新年会は中止にし、法話会のみにしようと思っております。いかがでしょうか。

○ 11月28日の御正忌法要は、予定よりも時間を短縮して行いました。お陰さまで、無事にお勤めできました。台所のお手伝いをいただいたのは次の方々です。(順不同、敬称略) 西澤恵津子さん、山本多美子さん、長屋文恵さん、木村富美子さん、野口恵美子さん、鳥羽澄子さん、村田妙子さん、禿優子です。本当にありがとうございました。

○ 今年は新型コロナウイルスで明け、新型コロナウイルスで終わるようです。相手は目に見えないものです。お互いに感染防止対策をして、過度に神経質にならないで生活したいものです。病気になっても病人にならないようにしたいものです。

「一人居て ^い喜^{よろこ}ばは 二人と思うべし

二人居て ^い喜^{よろこ}ばは 三人と思うべし

その一人は親鸞^{しんらん}なり」

上の言葉は親鸞聖人の遺言と言われている言葉です。歴史上親鸞聖人の言葉であるかは確定されているわけではないようですが、親鸞聖人にご縁を頂いた方々の間に残ってきた言葉です。でもそこに確かに親鸞聖人の御心があるように思います。ここに温かい人間が居るように思います。

「その一人は親鸞なり」という「親鸞」の所に亡き人の名を入れる事が出来る世界に目覚めたいものです。

○ 正月は年始参りに何う予定であります、日程等にご相談がございましたらご連絡ください。月参りは休ませていただく予定であります。何かご要望がございましたらご連絡ください。

「幸福に 気づかないという 不幸」 (平成サラリーマン川柳傑作集より)

・以前、京都アニメーション放火事件で逮捕された青葉真司容疑者(42)を治療した医師の話が北海道新聞に載っていました。

「・・・命の危機を脱し、声が出るようになったのは、約1ヶ月半後の昨年9月9日。気管切開した部分に取り付ける管を発音できるものに交換すると、青葉容疑者は「こ、声が出る」と驚き「もう二度と出せないと思っていた」と言って涙を流した。戸惑って「とにかくリハビリを頑張ろう」と促すと「世の中には自分に優しくしてくれる人もいるんだ」と言ってさらに泣いた。・・・・・・・・・・「どうせ死刑になるのに、リハビリを頑張る気が起こらない」とつぶやいたのは10月下旬だった。「死刑になるかどうかは分からないけど、やってしまった罪には向き合うべきじゃないのか」。唐突な青葉容疑者の言葉に思わず本音が出た。・・・」

～ どう思われますか。色々なご意見があると思いますが、彼がどの様な人生を歩んできたのかは知らないのですが、42年間生きてきて優しくしてくれた人は本当に誰もいなかったのだろうかということをおもいます。彼の^{ひがむ}僻^{ねた}む、妬^{ねた}む心がそれを受けつけなくしてしまったのではないかと思うのです。そして、このような悲惨なことを起こしてしまったのではないかと思うのです。私はそのように思うのですが、・・・・・・・・それにしても、なんと、とんでもない事をしてしまったのでしょうか。

「このこと だったのか！！と 頷くことができる 年輪の あたたかさ」

(多寄の浄土真宗のお寺の掲示板より)

・ 忠峰コーナー

「枯れ枝に も一度咲かせ 雪の華」

「短日や 用事の一つ 明日になる」